川口町公民館報
第52号
発行人 星野輝致
編集人 金子 真
印刷所 山勝堂印刷所

川口小学校統合校舎 川口中学校急増校舎 坪数内示さる

一、本年度建築に対し国の補助、起債が対象となる建築坪数が去る六月六日左の通り内示された。

記

川口小学校統合校舎……二八八坪
川口中学校急増校舎…… 六七坪

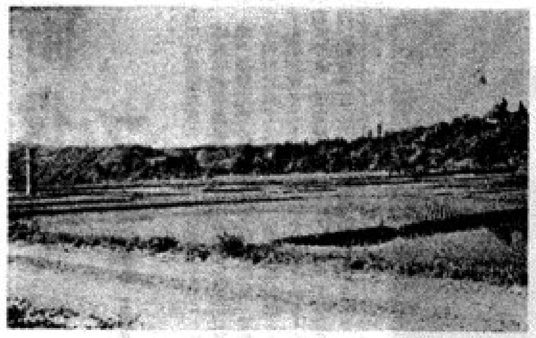
右に対し左の建築計画を樹立し七月着工する予定

記

川口小学校統合校舎……三二〇坪
川口中学校急増校舎……一三三坪

統合校舎の建築は大規模であるので町財政と睨み合せて向う三ケ年計画をもつて下図のような立派な校舎が、鉄筋コンクリート三階建によつて完成するのも時間の問題となりました。従つて本年は九教室を三階建に造り、完成と同時に上級生から逐次新しい学校へ移つて勉強が出来るわけです。

中学校の急増校舎も七月に着工し八月末日迄に完成し、二学期から生徒が移されるが、中学校の生徒数のピークは昭和三十七年に五七〇名となり教育課程の設計で新らたな教育が展開される時であつて、特に中学校では技術課程が特設されるので、国の内示坪数では到底生徒に満足な教育の場として進めることが出来ないために一三三坪の増築をすることとなりました。



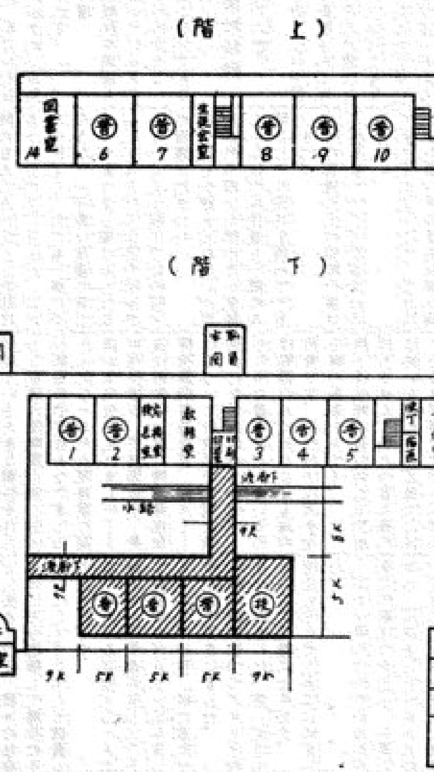
川口小学校統合校舎建設地

公民館長に 星野教育長留任

任期満了に伴い川口町公民館長及び各地区館長の任命について町教育委員会は次の通り決定した。

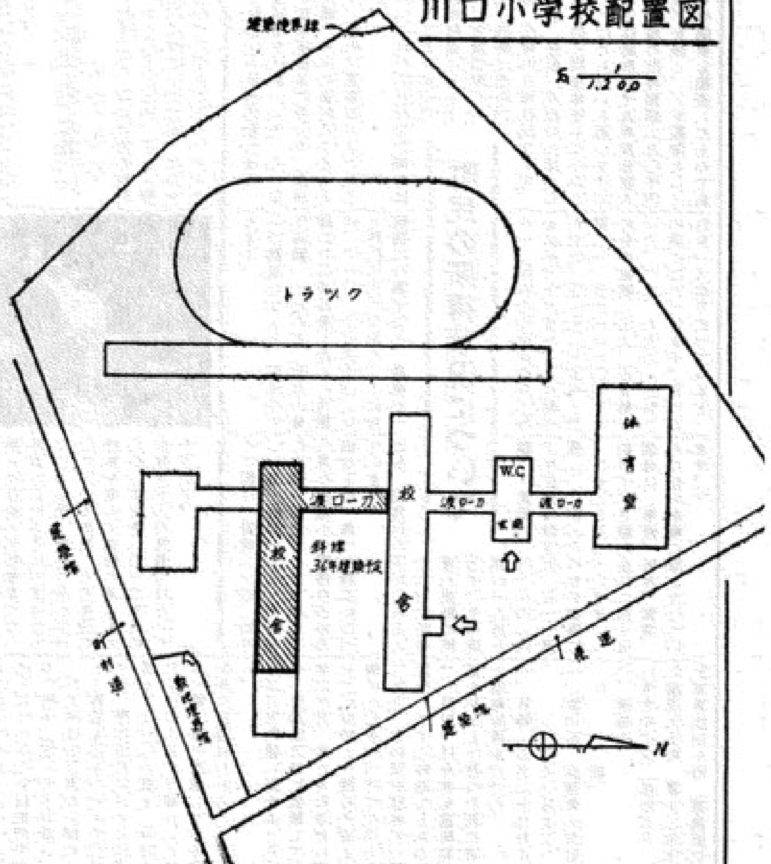
公民館長 星野輝致
東部地区館長 小林 聡
西川口〃 関 登代一
田麦山〃 大渕 寅蔵
木沢〃 小林三千三
水〃 丸山 晴久
中山〃 村山 道竜
和南津〃 関 平吉

川口中学校増築予定図



階別	室数	坪数
階上	4	110
階下	2	23
計	7	133

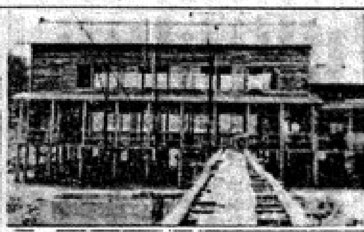
川口小学校配置図



★町の観光 ヤナ完成 二〇〇人の接待もできる

去る一月二十六日全焼した男山漁場がこのほど完成した以前のものとくらべずつと広くなり階上、階下で二〇〇人のお客様の接待ができるという。これから秋にかけてあゆの季節となるのだが十五、六人の従業員がてんてこまいするわけである。

最近は遠く県外からも予約申込みもあつて全国的にその名を知られるようになつた。燈台もとくらしで町にいるといけるようで仲々行かれぬものだが、あの涼風にほおを撫でられ躍る鮎の群を眺め、雑念をはらうことも必要じやなかろうか、どうぞこの夏は男山漁場で一つ……。



全校ミルク給食実施へ

児童生徒の体位向上と保健の面から例年国の助成を仰ぐ脱脂粉乳給食を実施して来ましたその結果が相当の効果を挙げつつありますがこれを年間給食にしたなら尚一層効果的である見地から関係機関と連絡をとつて愈々七月から全校にミルク給食を実施することゝなりました。このミルク給食は近き将来全校完全給食（お弁当を持つて行かなくともよい）を移行する前提のもとに実施するわけでありますので児童生徒を持つ父兄の方々は勿論のこと町民あげて一日も早く完全給食が実施出来るように理解ある御協力をお願いいたします。

北魚沼郡教育振興会、教研大会開催さる

去る八日に教組定期大会、二十日に郡振興会が開催され新年度の計画が樹立された。

その主な研究分野を見るに各教科別の他に青少年文化、幼年教育、僻地教育、青少年の職場（進路指導）、学校行財政、特殊教育、生活指導、道徳教育と教育全般にわたつて研究がなされる事になつた。

一方又改定教科課程実施の問題、児童生徒指導要録改定と教育の面はなかなか忙しい時に中学部では来る廿五日郡陸上競技大会（会場川口中）を皮ぎりに、各種の運動大会が花々しく開催される。

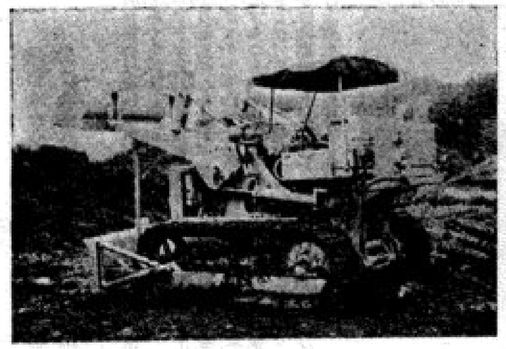
更に又高校入試対策も頭のやめる一つである。現在の中学二年は全国七十万、中一年は百万と増加を見ている今日高校入試対策は捷眉の急を要する問題である。

これと並行して輸出の余りのびない今日、二、三年後の就職問題も又深刻の度を増す事が予想される。

平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立はなかなか前途多難である。

町役場でブルドーザー購入

県では豪雪対策の一環として、冬期の無雪道路確保のため、県内豪雪地帯の町村のうち十ケ町村に対して、ブルドーザを斡旋することになった。一台につき、県費補助一〇〇万円、起債一五〇万円平均財源を考慮することになっている。このなかに川口町も含まれているので、町役場ではこのほどD五〇型ドーザショベルを購入することになつた。ブルドーザは御承知の通り、道路の開さくや、開田開畑、特に冬の無雪道路の確保にはなくてはならない機械であつて、町としては常日頃ほしがつていたところ、今回県から補助と起債が認められたので購入となつたもの。



購入したD50型ドーザショベル

入場券の片半は必ず受け取りましょう

入場税は、映画や演劇などを御覧になる方が負担しているわけですが、国庫に入つたこの入場税は全部都道府県に交付され、教育、文化、民生事業等私どもの日常生活につながる仕事に使われております。

都道府県への配分は、原則として人々にあん分して決定されます。昭和三十四年において新潟県は入場譲与税として五三八、一八〇千円の配分を受けております。このように入場税は私どもに密接な関係にある大切な税金であります。

私達の支払つた入場税が正しく国庫に入るように入場券の半片は必ず受け取るよう御協力をお願いします。

（小千谷税務署）

新しい法律 ……「トラ退治法」……

酔つぱらいの乱暴を追放するため、〃酔つぱらい防止法〃が七月一日から全国一斉に施行される。

この法律の目的は一、酩酊者の行為を規制し、又は救護を要する酩酊者を保護する等の措置を講ずることによつて、過度の飲酒が個人的及び社会的に及ぼす害悪を防止し、もつて公共の福祉を保つことを目的としている。

おもな内容はつぎのとおり

一、酔つぱらいの処罰

酩酊して通行人や、乗客などに、ケンカを売つたり、下品な言葉を浴びせて迷惑をかけると「拘留」か「科料」の処分を受ける。又酔つぱらいを〃そそのかし〃て乱暴させたりする者も、同罪となる。

さらに警官の制止を聞かない酔つぱらいは現行犯として検挙される。この場合、警察は人権侵害にならないよう注意することになつている。

二、酔つぱらいの保護

酔つぱらい本人に応急の救護が必要な場合は保護する。

応急とは酔つぱらいをそのまゝにしておくと、自動車や汽車にひかれそうな心配があるとか、グレン隊などにケンカを売られそうな状態にあるとき、又は凍傷の心配のあるときが救護の対象になる。

保護時間は二十四時間以内でその間に家族、知人が引取りにくるか、酔がさめて正気になれば釈放される。

三、警官の立入権

酔つぱらいが家族や同居人などに乱暴を働いているときは警官が家のなかに立入り、乱暴をしずめることができる。

川口中学校特殊学級について

昭和二十四年四月川口中学校に特殊学級が新設されて以来はや十二年の才月が流れた。「特殊学級」といわれてもピンとこない人があんがい多いだろう、いやさつぱりわからない方々もあるかも知れない。一応知つていただきたい、どんなことをしているのだろう、どんな子供たちが特殊学級生なのだろうと。この子らと共にそれこそしんけんに取り組んでおられる山下先生に寄稿いただいたので御紹介しよう。

この子らと共に

山下克利

「おはよう、おや教室の時計がおくれているね、正しい時刻は九時二十分だが、何分おくれているんだろう」「ガヤガヤ……」「所で僕は君達の名前がわからないんだ、一人ずつ黒板に出て書いてくれないかなあ、最初に僕が書こう―――」「読める人いるかな―――名前はカットシつていうんだ、これから仲よく、何でも一緒にやろうな」「今度は君達の番だろう」……やあうまく書けるんだなあ、ごほうびに生徒手帖をやろう」こんな調子で此の組での指導が始まつた。

四つ迄しか数えられない生徒自分の名前しか読めない生徒しかし此の生徒達も一個の人間としての価値を認めてやるべきだ。

人間の価値をその知能の高さで測る事について反省せねばならない。

できる子がよい子で、できない子が悪い子とする傾向が強すぎはしないか？

知能学習だけが技術で一流校から一流大学を出て社会生活に入つた後犯罪者になるという例もけつして少くない。

敗戦という大きな犠牲をはらつて戦後人間尊重が強く叫ばれ新憲法の支柱となりました。そこから一連の人間尊重に関係ある法令が生れました―――生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法、精神衛生法、精神薄弱者福祉法、等々―――に基づいて行政面で着実な救済が行なわれ始めました。その中で最もおくれているのは知能のおくれたこども達の教育です。そのわけは大きな障害があるからです。

第一は彼等は自ら訴える力を持ちません。他人の言う事に疑いを持たず真正直で仏様のような彼等ですが人に訴えて納得させる論理を持ちあわせません。

第二は彼等に対する偏見があります。精神薄弱の原因は半分ほどしかわかつていないのに遺伝というまちがつた公式を持ち続けていること。

第三は社会の知能偏重です。教室で石のようにだまりこんでいる生徒、昔から忘れかけられている生徒、その生徒の将来を考えて彼等の為にあたたかい手をさしのべてやるのが我々大人の任務ではないだろうか？

知恵のおくれたこどもの教育は、親と教師と児童、生徒だけでは成功しないのです。彼等がその中に生れ、将来そこで生きて行く、我々の社会全体が充分理解して援助の手をのばしてすくすくと成長して行くのです。

この町のM左官屋さんやA工務店さんは早速共鳴して下さり実習用のブロック型を貸して下さり、砂利、砂の寄附を申し出て下さいました。

私達は張り切つてブロック作りが始めました。皆一生けんめいです。実に上手です。注文もポツポツ来はじめました。

「オラの信用にかかわるから変な仕事はできない」と言いながら、出来上つたブロックの山を見て目をほそめています。

町民の所得状況について

経済力や経済活動の現況、推移等をはあくして、これを財政経済政策の樹立や、経済問題の分析の資料にすることは、極めて重要なことであります。

而しこれらの状況を正確にはあくするためには、産業構造はもとより、生産活動の状況、消費生活の内容、所得の分布状況などを、生産、分配、支出の三面から総合的に調査解明していかなければならないと思いますが、以下は昭和三十五年度分個人町民税の所得割額（九〇千円以下を除く。）を基準としてその概要を調査したものであります。

この調査によると、町全体の所得額、いわゆる、総収入金額から必要経費を差引いた残額は、二一三、〇二四千円（以下単位千円）であり、これを業種に分類すると、農業が一一一、四四八で全体の五二％を占めております。次は給与の七三、三一七（三五％）営業二一、五六三（一〇％）その他の事業（大工、左官等をいう。）六、六九六（三％）の順になつています。更にこれを一人当りにつてみると、その額は、営業二二四、給与二二五、農業一五三、その他の事業一三九となつており、人員の関係から所得の占める割合とは、異つた順位になつています。

なお、税負担の面からみると、これらの所得者が実際に納付すべき所得割の一人当り額は、営業六、八一二円（以下単位円）給与五、五一一農業三、〇四二その他の事業二、二七〇となつています。（納付すべき額の全体に対する割合は、農業、給与、営業、その他の事業の順となつています。）

職業補導に参加して

「あゝ先生いらつしやい」「夜行でお出になられたのならさぞおつかれでしよう」「田植えのすゝみ工合は如何ですか」等々、嬉しそうな顔々。二ケ月ばかり見ない間に、もう言葉も姿も一かどの江戸ッ子。学校時代にはろくに発言もしなかつた者も、今は立派な社会人として雄々しく生活の第一線で活躍している姿を見て私達は心からホツトした。

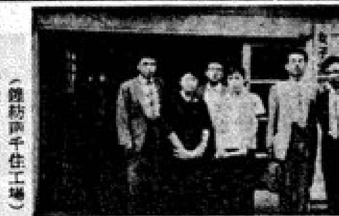
三月末希望に胸をふくらませ、希望新天地に就職して以来二ケ月、未だ見ぬ世界に対しての期待と一抹の不安とを胸にいだきつづけて生活した二ケ月。この間が彼等の一番動揺しやすい時期でもあるので、当校では今年も産業期休暇を利用して次の計画に従つて職業補導を行つた。

一、日時 五月二十九日より六月一日まで
一、参加者 全職員（五班編成）
一、補導先

1. 東京荒川区 鐘紡KK
2. 横浜天王町 富士工業所
3. 東京世田ケ谷 東島商店
4. 東京墨田区 鐘紡KK
5. 東京江戸川 大進製作所
6. 埼玉県 東邦レース
7. 東京品川区 極東宝電KK
8. 〃 江東区 日東紡KK
9. 〃 練馬区 理研テレビ
10. 〃 渋谷区 ヒサモト洋菓
11. 〃 神田 いろは寿司
12. 〃 深川 柳田栄次郎
13. 〃 〃 大阪屋商店
14. 〃 池袋 佐藤惣次郎

㊀鐘紡千住工場

昨年、今年と二名の就職者があつただけだが、工場は静かな美しい整つた様子をしていた。作業は織布、染色、二交代制で、寮生活は自由な雰囲気が見なぎり、楽しそうだつた。しかしながら寮生活をしている工場では寮生の指導を大いに研究していたゞかないと自由気まゝに流れ、金遣いがあらくなり規律の乱れる心配がないでもない。



（鐘紡千住工場）

㊁富士工業所

中小企業の典型的なものでNECの下請工場、受注も多く上向きにある様子。子がいで熟練工を育て、たゝきあげでかなりの腕が出来る。優秀工養成型、能力のある希望者は定時制工業高校に通学させている。寮生活。

㊂東島商店

労働時間は約十時間だが、かなり店員の希望を入れ、九時閉店、店員教育の時間を設け、主人、店員の意見交換の機会をつくつていた。

ただ中小企業の弱点は内容地位、待遇等について学校で教育するような理想的なものにはなかなかなれない。

文房具、食料品販売で英語、珠算、計算尺等は学校で大いに指導して頂きたいとの要望があつた。

㊃極東宝電株式会社

仕事はもえない金庫、ミシン台製作が主で、寮生活。給料もよく仕事面の指導と人事面はなかなかよろしいし、将来性のある仕事。只工場は三〇名足らずの小工場。後輩の就職を要望。

（富士工業）

㊄大進製作所

自動車部品製作の小工場、新工場建設計画もあり、将来性のある工場。川口の子供を大いにほめておつたが只発表力なく、思う事どんどん言わない子供が多いとの事。

㊅ヒサモト洋菓子店

白い帽子に白い上衣、蝶ネクタイ姿で働く店員、この他に工場で菓子製造をやつており、店員は皆明るい。店員の希望を入れて、年次計画的職場引室を要望。

（日東紡）